別紙資料活用ガイド

資質・能力を育成する～「見方・考え方」を働かせることを通して～

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進める際には、児童生徒が「見方・考え方」を働かせて学ぶような授業デザインを考えることが重要だと聞いたけれど・・・・・・・・・

そもそも「見方・考え方」って何だろう？

教科等の特質に応じた「見方・考え方」って何だろう？

「見方・考え方」を働かせるための手立てとは？

「深い学び」と「見方・考え方」の関係は？

「見方・考え方」を働かせている子どもの姿って？

三つの柱とは違うものなの？

そんな声にお答えするために、別紙資料を作成しました！

・次のＷｅｂページからダウンロード可能です。
「美の国あきたネット(https://www.pref.akita.lg.jp)」＞「部署別」＞「教育庁」＞「北教育事務所」＞「学校教育」

・別紙資料①と別紙資料②を組み合わせることで、校種に応じた１枚の資料となります。Ａ３裏表で印刷するなどして活用してください。

←別紙資料①

「単元（題材）及び授業構想のポイント」です。各教科等において目指す資質・能力を育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図ることが大切です。特に、「深い学び」の視点に関して、理解が深まるように構成しました。

別紙資料②（小学校、中学校）
↓

Ⅰ「見方・考え方」とは何か、Ⅱ「見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する授業を実現する上で配慮すべき事項について、学習指導要領解説等を基にまとめました。

「見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する授業を実現する上で確認が必要となる、各教科の目標（柱書き部分）、学習活動の工夫及び「見方・考え方」について、一覧にしてまとめました。

＜活用場面の例＞

・年度初めの校内研修会や各種研修会で、別紙資料を活用しながら、「見方・考え方」について全員で共通理解を図る。
・指導案検討会や研究協議会で、学習指導要領解説と別紙資料を活用しながら協議を深める。
・研究教科に応じた別紙資料を印刷し、手元に準備しておくことで、「見方・考え方」や授業づくりについて日常的に確認できるようにする。
・タブレット端末に保存して、必要に応じてすぐに見ることができるようにする。 など